

令和7年度 卒業論文要旨

学生氏名	垣花 匠
論文 タイトル	ロッテの企業成長と日韓における構造的要因の関連性に関する考察
要旨	<p>本論文は、ロッテグループの成長過程を、日本と韓国という異なる制度的・経済的環境への適応戦略の観点から、主にロッテの社史資料や刊行済みの関連著作といった二次史料をもとに分析したものである。</p> <p>従来の創業者中心の説明に依拠する先行研究を批判的に検討し、両国間の発展段階の非対称性や制度的空隙を戦略的に活用した経営構造に着目し、その成功プロセスを追っている。</p> <p>加えて、戦後日本におけるニッチ市場戦略と技術的適応、韓国における資本移転とサービス産業展開を通じて、ロッテが独自の成長モデルを構築した過程を明らかにした。</p> <p>さらに、こうした成功要因が2010年代以降、地政学的リスクやガバナンス問題によって逆機能化する「適応のパラドックス」に転化している点も、あわせて指摘している。本研究は、企業成長を国家間環境との相互作用から捉え直す視座を提示する点に、特に意義があるといえよう。</p>